

DMR-UBZ1 の展開(15)

—総合試聴—

1. はじめに

前報(14)までの DMR-UBZ1 の一連の報告が [DMR-UBZ1 の展開\(14\)](#)までで、一応けりがつき、下記の報告内容が一段落した段階で、A 氏、Y 氏、ST 氏にお越しいただき、各氏のご興味のあるところを試聴していただくことになりました。また、タンノイの Arden をお使いの A 氏には拙宅の居間の Arden をお聴きいただき、併せて A 氏の興味のある PC オーディオや Y 氏と ST 氏によるモバイルの活用などの試聴を行いました。

[PC オーディオの高音質化シリーズ](#)

[CD 再生の高音質化](#)

[ネットワークオーディオの高音質化](#)

[ブルーレイレコーダー再生の高音質化](#)

[アナログ再生の高音質化](#)

2. DMR-UBZ1 とその他の試聴方法

再生方法は上記の報告、その他これまで紹介してきた方法を採用します。なお、最新のネットワーク関連の接続図として [Block Diagram Network Audio for Sonica DAC & DMR-UBZ1\(asof2018.5.9\)](#) を編集者 Profile のページに収載しています。

3. DMR-UBZ1 とその他の試聴結果

1F 居間設置のアーデンのシステムは、別途[第二リスニングルームの整備\(2\)](#)で報告していますが、CD を Marantz CD-95 で再生し、Leak Point1 と Lux A-3000 で駆動するもので、A 氏が持参された CD などを聴いていただきました。オーディオ的な音の作りこみはしていないのですが、先日の [I 氏のご感想](#)と同様、これはこれでタンノイの素直な音が出ているとのご感想でした。

同じく、1F 居間設置の Ottava f SC-C70 は、[OTTAVA f SC-C70 の導入シリーズ](#)と [OTTAVA f SC-C70 の活用シリーズ](#)で報告していますが、ざっと CD の再生、USB HDD 内音源の再生、サーバー内音源の再生、Spotify、Internet Radio など、いろいろな再生ルートで聴いていただきました。Spotify などは圧縮音源の割には素直な音がしていますので、本機を良く知る ST 氏は、これまで同機を聴いてきた中では良い音がしているとのことでした。

2F の FAL C90 EXW のメインシステムでは、DMR-UBZ1 による BPODCH と各種

アナログおよび CD 音源の比較を同じ曲で聴いていただきました。DMR-UBZ1 による BPODCH は前報の [DMR-UBZ1 の展開\(14\)](#)で報告したいくつかの音源を聴いていただき、アナログには特有の魅力があるが、一方、BPODCH はベルリンフィル大ホールの空間表現が良く出ていて、この点ではアナログおよび CD と比較してそんなにとの感想をいただきました。アナログについては、[My Sonic のトランス Stage1030](#) 導入前後のアナログ盤から TASCAM DA-3000 で録音した DSD 音源がありますので、fidata から読み出して再生し、トランス交換の違いを確認していただきました。

DMR-UBZ1 による BPODCH 再生の音質向上は [DMR-UBZ1 の展開\(14\)](#)までに報告していますが、ネットワークオーディオをなされている ST 氏は、ルーターのノイズ対策にご興味を示されていました。

ネットワークオーディオについては、fidata から最新の DSD 録音の DSD サンプル音源の再生を行い、また、当方の iPad で Sportify Connect のデモを行いました。また、iPad による DMR-UBZ1 録画の宅内視聴も見ていただきました。

A 氏のご希望により、拙宅の SWD-DA20 と A 氏持参の PC との USB 接続での PC 内音源と CD の再生を行いました。A 氏の PC は SWD-DA20 のドライバーが最新版でないため、A 氏のご希望による BulkPet 伝送は拙宅の PC でデモを行いました。SWD-DA20 における BulkPet 伝送については [SWD-DA20 の活用シリーズ](#)で報告済みですが、A 氏はこれにご興味をお持ちでした。

Y 氏持参の DVD から採った MPG2(1536Kbps/48KHz)音源は A 氏の PC から WMP で再生して SWD-DA-20 に入力し、DVD 盤の PC のドライブからの再生はなぜかうまく行きませんでしたので、DMR-UBZ1 から Sonica DAC に入力して再生しました。再生機も DAC も違いますので、厳密な比較はできませんが、電源対策など DMR-UBZ1 まわりに手を打ってきていますので、DVD の再生はかなりの音質と言えます。

また、[Apple Lightning-Digital AV アダプター](#)によるモバイル→HDMI 変換は ST 氏持参の iPhone や Y 氏持参の iPad で実施できました。Y 氏はプロジェクターと繋いでプレゼン用に使用することに興味を持たれていました。

[Apple USB 3 カメラアダプター](#)によるモバイル→USB変換は Sonica DAC ではうまくいくのですが、SWD-DA20 への入力はいくつも行きませんでした。[iAudio Gate for iPhone](#) のアプリを入れておくと活用範囲が広がるのですが、時間の関係で実施できませんでした。

モバイル活用に関しては、諸氏の持参された iPad、iPhone、アンドロイドのスマホでルーター子機にアクセスしようとしたのですが、不調に終わりました。休憩のため、再び1F居間に降りて、ルーター親機にアクセスするとすんなり接続が完了しました。テクニクスのネットワークプレイヤーをお使いの ST 氏の iPad にはテクニクスのア

プリが入っていますので、そのまま SC-C70 の操作を行うことができました。SONICA アプリの入っている Y 氏の iPad を 2 階に持って上がると Sonica DAC の操作が可能となっていました。A 氏の 안드로이드スマホには Spotify のアプリが入っていましたので、SC-C70 の Spotify Connect を再生しようとしたのですが、無料版だったので、有料の Premium 版への upgrade が必要でした。各氏のモバイルとも、ルーター接続に手間取ったため、十分な確認はできませんでしたが、一応の目途が立ちましたので、次回はさらにいろいろな活用を行っていただければと思います。

3. まとめ

一部時間切れになりましたが、多様な音源に対し、いろいろな再生ルートの確認をしていただきました。特に音質改善に努めてきた、DMR-UBZ1 による BPODCH 再生と Ottava f SC-C70 は音質について評価していただきました。また、アナログには特有の魅力があり、一方、ネットワークを活用したデジタルも手をかけて構築していく意義があるというご感想もいただきました。

モバイルの活用は、今後、各氏のモバイルにいろいろなアプリを準備していただき、A 氏邸訪問の際などの機会を捉えて確認を継続していきたいと思います。

以上